

# 令和4年度農作物病虫害発生予察技術資料第1号

令和4年(2022年)7月4日  
山口県病虫害防除所

## カンキツのミカンハダニの発生状況と防除対策について

カンキツのミカンハダニの発生が平年に比べて多くなっています。今後も同様の状況が続けば果実品質の低下が懸念されますので、防除の徹底をお願いします。

### 1 発生状況

6月下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1%(平年30.2%)、寄生葉率13.7%(平年3.8%)で平年に比べ多かった(図1、図2)。

また、寄生葉率が60%を越える多発ほ場が認められた。

### 2 今後の予想

平年に比べ梅雨明けが早く、今後、秋口まで発生が増加することが予想される。

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生程度 多

### 3 防除対策

- (1) ほ場を観察し、寄生葉率が30~40%以上の発生が認められる場合は防除を実施する。
- (2) 薬剤散布後は、防除効果を確認し、その後も発生が認められる場合は、系統の異なる薬剤で追加防除を実施する。

### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤が葉裏にもかかるよう、十分な液量を丁寧に散布する。
- (2) 防除に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

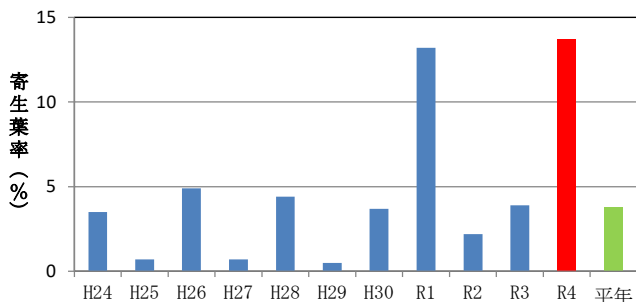


図1 ミカンハダニ寄生葉率の年次比較(6月下旬)

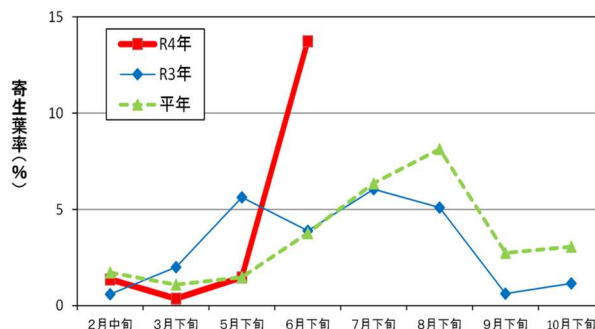


図2 ミカンハダニの発生推移